

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ Agenda家庭基礎（実教出版）、最新家庭生活ハンドブック 資料&成分表 & ICT（教育図書） ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】自立した生活に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての科学的な理解と技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】家族・家庭や社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】相互に支え合う社会の構築に向けて、主体的に地域社会に参画し、家庭や地域の生活を創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え家庭・家族の意義、家庭・家族と社会の関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解を深め、それらにかかわる技能を身につけるようにする。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を養う。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組み改善し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造しようとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 自分・家族 多様化した社会に生きる 【知識及び技能】 社会と生き方の多様化を把握するとともに、他者との比較を通して自己を客観的に見る視点を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 今後の人生に向けて自立のために必要な生活スキルを理解する。	・指導事項 社会と生き方の多様化を理解する。 ・教材 「家族に関する意識調査」 ・1人一台端末の活用等 意識調査の集計、ワークシートの提出 資料の提示等	・個人の生き方や性のあり方など多様性の尊重について理解している。 ・青年期の意味と自立への課題について理解し、今後の人生選択に関係する基礎的・基本的知識を身につけている。	○		○	4
	家族・人生・生き方と法律 【知識及び技能】 家族法の基本的な知識や近年の動向を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族法について考え、選択的夫婦別姓や同性婚など近年の動向について検討することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 家族法について関心を持ち、今後の課題等考えを深める。	・指導項目 家族に関する法律を理解する。 ・教材 明治民法（旧民法）と現行民法の比較 ・1人一台端末の活用等 討論に必要な資料検索・ワークシートの提出、資料の提示等	・家族法の内容と今後の課題について理解したうえで、多様な生き方を尊重し男女が協力して社会を築くという考え方を身につけている。	○	○	○	2
	消費・環境 消費社会を生きる 【知識及び技能】 家計と経済の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動と消費行動について理解し、問題意識を持つ。 【学びに向かう力、人間性等】 家計の管理やリスク・マネジメントについて関心を持ち、適切な判断ができる。	・指導項目 消費・環境 消費社会を生きる ・教材 「19歳の家計簿」「生活設計と社会保障ゲーム」 ・1人一台端末の活用等 ワークシートの提出、資料の提示等	・日常生活における経済の計画を考え、課題を見出しその解決を目指し考えを深めている。 ・消費をめぐるトラブルに直面した場合の解決方法や手段を身につけている。	○	○	○	2
	単元 衣生活 衣服の材料と管理 【知識及び技能】 衣服材料について繊維の種類と特徴について理解する。 適切な衣服の管理を理解し、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 燃焼法による繊維の判別と繊維の吸水試験により繊維の特徴を捉える。 衣服管理についての知識を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 燃焼法による繊維の判別と繊維の吸水試に興味を持って実験している。	・指導項目 衣生活 衣服の材料と管理 ・教材 燃焼法による繊維の判別と繊維の吸水試験 人工汚染布を使用した洗濯実験 ・1人一台端末の活用等 実験の記録、ワークシートの提出、資料の提示等	・個性豊かで健康的な衣生活を送るために必要な衣服の材料・管理方法などについて、基礎的・基本的な知識を身につけている。	○	○	○	4
	衣生活 これからの衣服 【知識及び技能】 持続可能な衣生活を目指し、基本的な縫い方の技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 被服製作を通して創意工夫することや物づくりの楽しさを知り、環境に配慮した衣生活について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 被服製作を計画的に実践している。	・指導項目 衣生活 これからの衣服 ・教材 小物製作 ・1人一台端末の活用等 縫い方の動画視聴等、ワークシートの提出、資料の提示等	・自らの衣生活について、流行と個性、環境、健康、安全などの関係で問題点や課題をみいだすことができる。 ・小物製作を通して基本的な縫い方の技術を身につけ、衣服の修繕方法を理解している。	○	○	○	10
	単元 ホームプロジェクト 【知識及び技能】 生活の中から課題を見つけ、自ら課題解決のために行動する。	・指導項目 ホームプロジェクト ・教材 ホームプロジェクト実践例 ・1人一台端末の活用等 資料検索、レポート作成等	・家庭基礎で学んできたことを活かし、課題解決のための過程を組み立てることができる。	○			1
	定期考査			○			1

2 学 期	単元 食生活 【知識及び技能】 食生活の現状を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の食生活について問題点や課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな観点から日ごろの食生活を振り返り、課題を発見することができる。	・指導項目 食生活 食生活の現状 ・教材 「国高生の食生活実態調査」「日本の食の変遷」 ・1人一台端末の活用等 「国高生の食生活実態調査」の集計、ワークシートの提出、資料の提示等	・食生活や食物・食品に関心を持ち、自らの食生活について、健康を維持するだけでなく、精神的な豊かさを向上させる意味も持つことを理解し、そのために必要な知識の習得、改善のための考察や行動に意欲的に取組もうとする。	○	○	○	4
	食品と栄養素の関わり 食事をつくる 【知識及び技能】 健康な食生活を営むために必要な栄養、食品などの基礎的・基本的な知識と技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 和食・洋食・中国料理の特徴や課題について理解し、改善策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 調理実習や調理の課題について関心を持ち、意欲的に取組むことができる。	・指導項目 食生活 食品と栄養素の関わり 食事をつくる ・教材 バランスの良い食生活 食事摂取基準 食品群別摂取量のめやす 調理実習 ・1人一台端末の活用等 調理実習の記録 栄養価計算 資料の検索等 ワークシートの提出	・バランスの良い食生活の重要性和エネルギーや食事摂取基準、食品群別摂取量のめやすについて理解している。 ・栄養素の種類とその特徴に関する知識を習得し、それらを多く含む食品の特徴を理解している。 ・食品の保存、食中毒等の基本的な知識を身につけている。 ・調理実習において、調理のための基礎的な技術が習得できている、知識と融合させて、献立を考え、食品を選び、調理などの行動ができる。	○	○	○	19
	定期考査			○			1
	単元 高齢者 高齢者と生きる 【知識及び技能】 高齢者体験により高齢期の心身の特徴と生活支援技術・知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の心身の特徴を理解し、適切な介助について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢者体験などの体験実習から、高齢者や介助者への支援に関心を持ち、考えを深めている。	・指導項目 高齢者 高齢者と生きる ・教材 高齢者体験 車椅子体験 ・1人一台端末の活用等 レポート提出、資料の提示等	・高齢者の心身の特徴を理解し、それらについて、基礎的・基本的知識が身につけている。 ・高齢者の尊厳や人権について理解し、高齢者の生活支援に関する基礎的・基本的な知識が身につけている。	○	○	○	4
3 学 期	単元 高齢者 高齢社会の現状と課題 高齢者を支える制度としくみ 【知識及び技能】 さまざまな資料から高齢社会の現状や課題について理解し、高齢者を支える制度としくみを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 年金制度や意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 高齢社会の現状や福祉制度、年金についての考えを深めることができる。	・指導項目 高齢者 高齢社会の現状と課題 高齢者を支える制度としくみ ・教材 「ロールプレイングを通して家族の目線から高齢社会を考えよう」 ・1人一台端末の活用等 資料検索、レポート提出等	・高齢期の問題について、ライフコースのなかで、自らが将来直面することとして、高齢者の生活や福祉の問題を考えることができる。	○	○	○	6
	単元 子どもの心と体の発達 【知識及び技能】 乳幼児期の子どもの発達の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもや子育てに関心をもち、子どもの身体的・精神的発達について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 乳幼児期の子どもに関心をもち、発達の特徴を理解し、地域の人間として、将来の親としてどうしたらよいか考えを深めている。	・指導項目 子どもの心と体の発達 ・教材 「乳幼児の保育」新生児人形 妊婦体験具 胎児模型 子宮内模型 ・1人一台端末の活用等 資料検索、レポート提出等	・子どもや子育てに関心を持ち、乳幼児の身体的・精神的発達について理解している。 ・子どもが健やかに成長するためにはどうしたらよいか、意欲的に考えようとする。	○	○	○	4
	単元 子どもの生活 子どもの育つ環境と社会 【知識及び技能】 子どもの生活習慣を理解する。 さまざまな子育て支援の場があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの健康と安全について考えることができる。 子育てに関する制度などを理解し、子どもを取り巻く環境の変化と関連させて考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの生活について、知識を活かし援助する方法を考えることができる。 子育て支援やその課題について考えることができる。	・指導項目 子どもの生活 子どもの育つ環境と社会 ・教材 「子どもの発達と基本的な生活習慣」「発達の個人差を大切にした保育とは」「子どもの育つ環境」 ・1人一台端末の活用等 資料検索、ワークシート提出等	・子どもの生活に関わる基礎的・基本的な知識やその援助の方法などを理解している。 ・子育てに関する制度などを理解し、環境の変化や課題について考えることができる。	○	○	○	4
	単元 子どもと遊び 【知識及び技能】 子どもの生活の中心である遊びを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの遊びや児童文化財について考え、伝承遊びを体験する。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもと遊びを通してふれあい、子どもが安心して楽しむための工夫について考えることができる。	・指導項目 子どもと遊び ・教材 伝承遊び体験等 ・1人一台端末の活用等 資料検索、ワークシート提出等	・子どもが安心して遊びを楽しむために、どのような環境が望ましいか考える。 ・伝承遊び体験を通して、子どもが遊びを楽しむための工夫を考え、実践することができる。	○	○	○	4

合計
70

年間授業計画

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 家庭 科目 保育基礎

教科： 家庭 科目： 保育基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：

使用教科書：（ 保育基礎（実教出版） ）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想、実践を評価、改善し、考察するなど、生涯を見過して生活の課題を解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目	保育基礎	の目標：
【知識及び技能】		
子どもの健やかな発達を促すために必要な保育の意義や、具体的な保育の方法、子どもの発達過程と生活の特徴、子どもの遊びと表現活動を総合的に理解し、基礎的な技術を習得する。		
【思考力、判断力、表現力等】		
子どもの発達や生活の特徴を踏まえたうえで、保育環境を整えることの重要性について考えを深め、課題を発見し、子どもの健やかな発達を促すための保育について考え、よりよい保育を創造し課題を解決する力を身につける。		
【学びに向かう力、人間性等】		
子どもたちの健やかな発達を保障するためには、保育の充実が不可欠であることを認識し、豊かな人間性を養い、広い視野を持ちながら学び、保育に必要な知識と技術を進んで習得し、他者と協働しながら主体的に学び続ける態度を養う。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 保育の意義 【知識及び技能】 保育の意義と重要性について保育に関する法規から理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につける方法について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 保育者が人間形成にどのようにかわるかを主体的に考え、実践しようとしている。	・指導事項 保育とは 保育の意義 ・教材 DVD教材 ・1人一台端末の活用等 資料、プリントの提示	【知識及び技能】 乳幼児期は心やからだの基礎を築く大切な時期であることを十分に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 保育者の役割を理解し、乳幼児期の体験の重要性に気づくことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 保育の意義を理解したうえで、人間形成にどのようにかわるかを主体的に考え、実践しようとしている。	○	○	○	4
	単元 保育の環境と方法 【知識及び技能】 家庭での保育状況や幼児教育・保育の場の保育環境の特徴について認識を深め、保育者に求められる資質や身につける方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもを取り巻く環境に子どもにも与える影響について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの発達段階に応じた働き方・適切な保育環境の整備について主体的に考え述べることができる。	・指導事項 保育者の役割 一人ひとりに合わせた指導 ・教材 DVD教材 ・1人一台端末の活用等 資料、プリントの提示	【知識及び技能】 子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることや、保育の工夫が必要であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの発達段階における発達課題について考え、適切な関わり方を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの健やかな発達に必要な保育環境について主体的に考えている。	○	○	○	4
	単元 子どもの発達 【知識及び技能】 乳幼児期の発達と保育について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 乳幼児期の共通性や個別性の特徴について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 乳幼児の身体的特徴と生理的特徴、及びその変化について主体的に考えている。	・指導事項 子どもの発達の特徴 子どものからだの発達 ・教材 乳幼児模型 ・1人一台端末の活用等 資料、プリントの提示	【知識及び技能】 子どもの発達は、運動や感覚、心の発達が関連し合っていることを十分に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 乳幼児の共通性や個別性の特徴を関連づけて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 乳幼児の身体的特徴と生理的特徴、及びその変化について主体的に考え、保育実習に生かそうとしている。	○	○	○	4
	単元 保育実習 【知識及び技能】 これまで学んだ知識や技能を活用して実際に子どもとふれあい、保育の様子や観察した経験を発表し、保育への理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもとふれあう実習や実習発表から、具体的な方法を学び課題を発見し、より実践的な活動について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 保育実習や発表を通して、他者と協力・協働しながら主体的に学び続けることができる。	・指導事項 保育実習の事前指導や事後指導の実施。 ・教材 資料 保育レポート ・1人一台端末の活用等 資料、プリントを提示	【知識及び技能】 保育実習で、乳幼児の保育に関する知識や技能を活用し、実習から学んだことをわかりやすくまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもとふれあう実習を通して学んだことや、発表から成果や課題について考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 保育実習や発表から相互に学び、保育について主体的に学び続けることができる。	○	○	○	12
2 学期	単元 子どもの文化の意義と支える場 【知識及び技能】 児童文化財や児童文化施設など、子どもの文化を支える場や、その意義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 絵本や遊びなどの児童文化財や、子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのように関わりを持つかについて考察することができる。	・指導事項 子どもの文化 子どもの文化を支える場 ・教材 資料 絵本 伝承遊び道具等 ・1人一台端末の活用等 資料、プリントを提示	【知識及び技能】 絵本や伝承遊びなどの児童文化財や児童館など、子どもの文化を支える場が子どもの健やかな発達とどのように関わりを持つか、その意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの頃の遊びを振り返り、周りの人と話し合いながら遊びへの理解を深めている。	○	○		6
	単元 子どもの遊びと表現活動 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの遊びについて、必要な準備や関わり方を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 遊びにおける保育者からの働きかけについて主体的に考え、遊びの援助ができるようにする。	・指導事項 遊びと発達 遊びと表現活動 ・教材 伝承遊び道具等 資料 ・1人一台端末の活用等 資料、プリントを提示	【思考力、判断力、表現力等】 子どもの遊びについて遊具の遊び方や必要な準備、関わり方の工夫などについて考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもの年齢や発達に応じた遊び方の工夫を主体的に考え、実践することができる。		○	○	18
	単元 子どもの生活と養護 【知識及び技能】 乳幼児期の栄養や食事の特徴を実習を通して理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの食生活とその特徴について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 離乳食や幼児食などの実習について主体的に取り組み、子どもの発達の状況などと関連づけて考え実践することができる。	・指導事項 子どもの栄養と食事 ・教材 調理器具 食材 資料 ・1人一台端末の活用等 資料、プリントを提示	【知識及び技能】 安全で健康的な子どもの食生活に関する知識や技術を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 子どもの食生活について考察し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 離乳食や幼児食などの実習を通して、子どもの発達と関連づけ実践することができる。	○	○	○	4
3 学期	単元 学習のまとめ 【知識及び技能】 保育の意義や、具体的な保育の方法、子どもの発達過程と生活の特徴、子どもの遊びと表現活動を総合的に理解し、基礎的な技術を習得することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 保育環境を整えることの重要性について考えを深め、課題を発見し、子どもの健やかな発達を促すための保育について考え、よりよい保育を創造し課題を解決する力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 子どもたちの健やかな発達を保障するためには、保育の充実が不可欠であることを認識し、他者と協働しながら主体的に学び続ける態度を養うことができる。	・指導事項 子どもの保育 子どもの文化 子どもの生活 ・教材 資料 ・1人一台端末の活用等 資料、プリントを提示	【知識及び技能】 1年間保育基礎で学習した内容「子どもの保育」「子どもの文化」「子どもの生活」について総合的に理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 保育環境の重要性や保育について考え、課題解決する力を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 保育の充実について認識し、他者と協働しながら主体的に学び続ける意欲がある。	○	○	○	18

合計
70